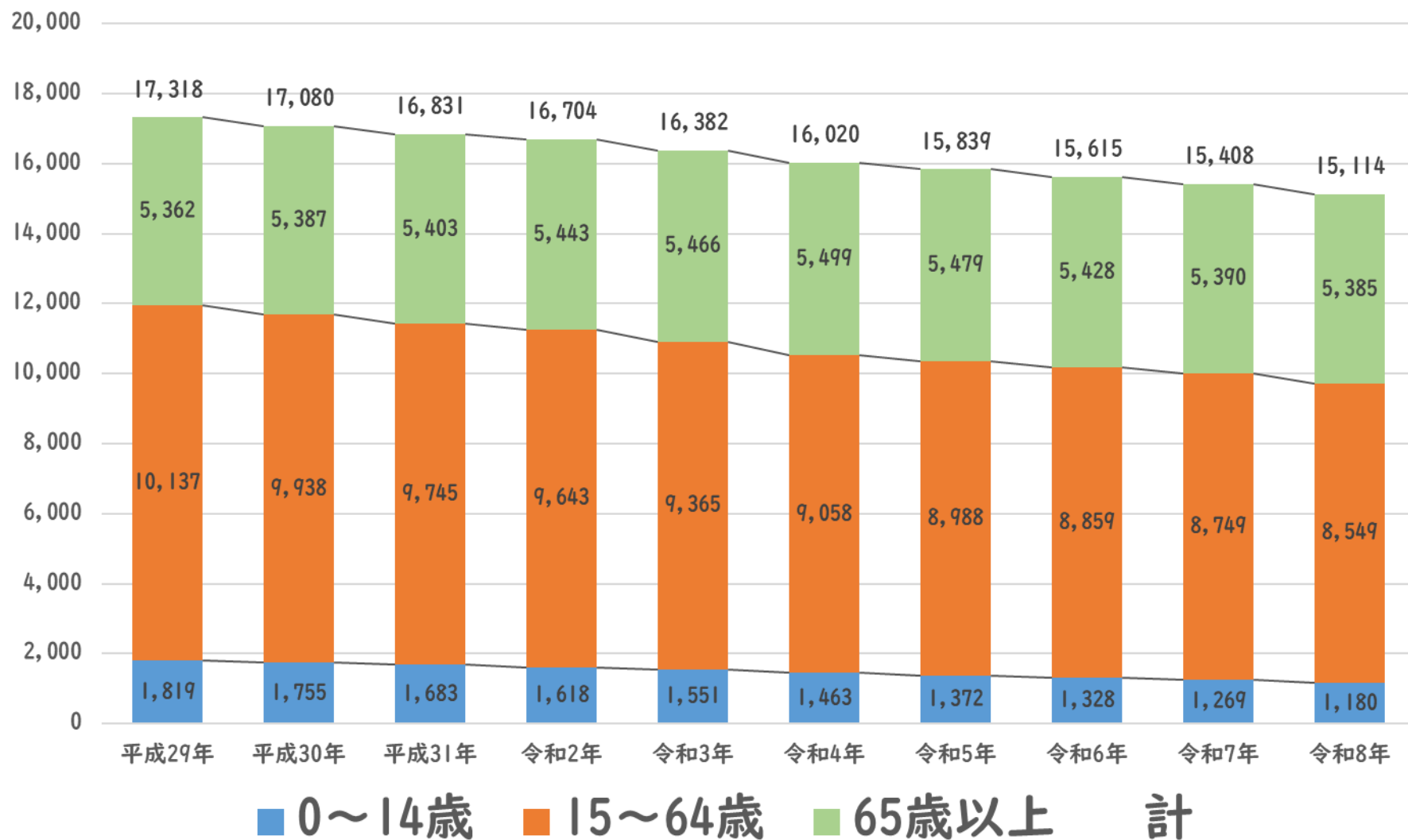
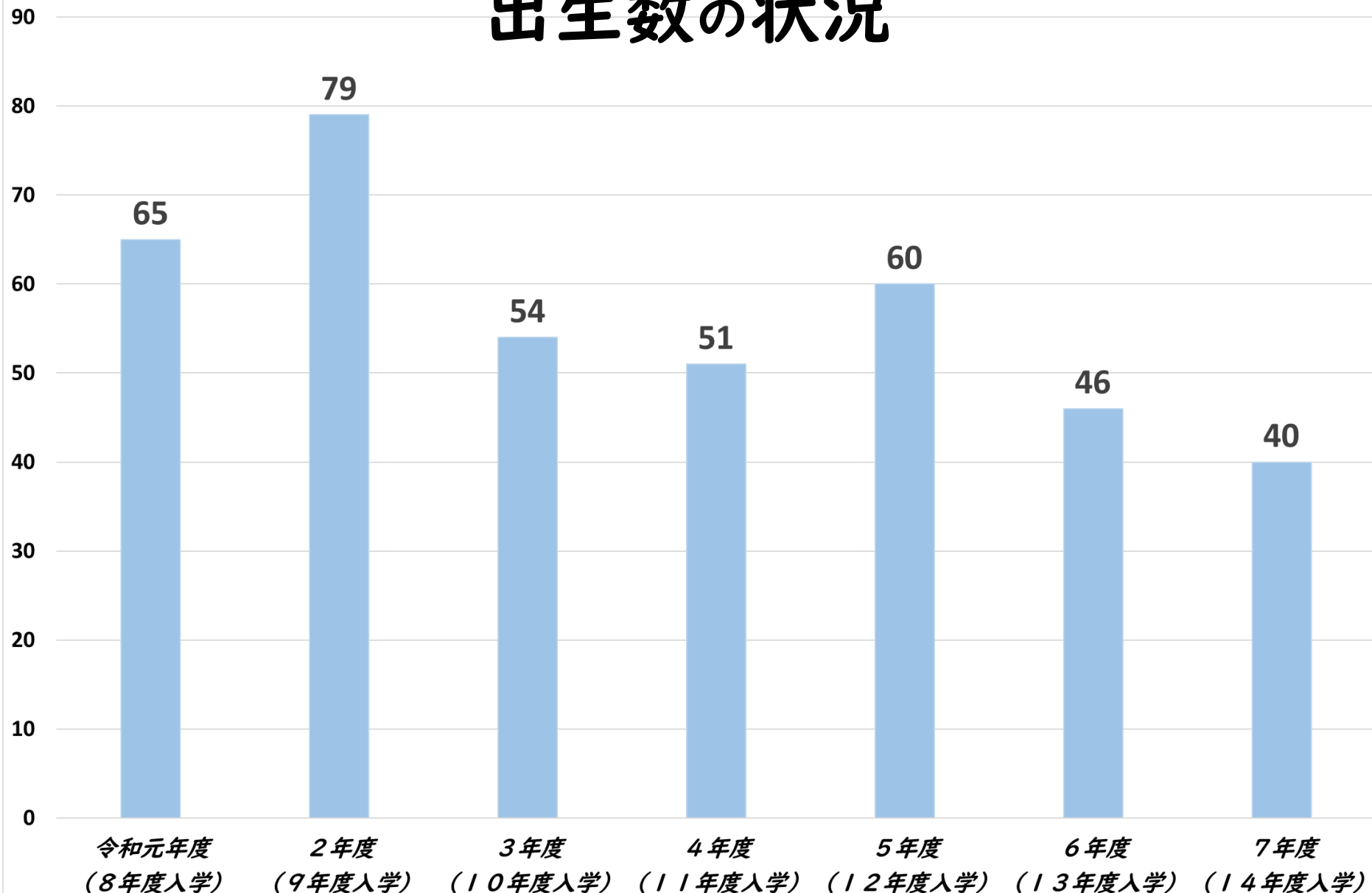


大洗町の総人口・3区分別人口の推移 (毎年4月1日で算出：外国人を含む)



出生数の状況

(人)

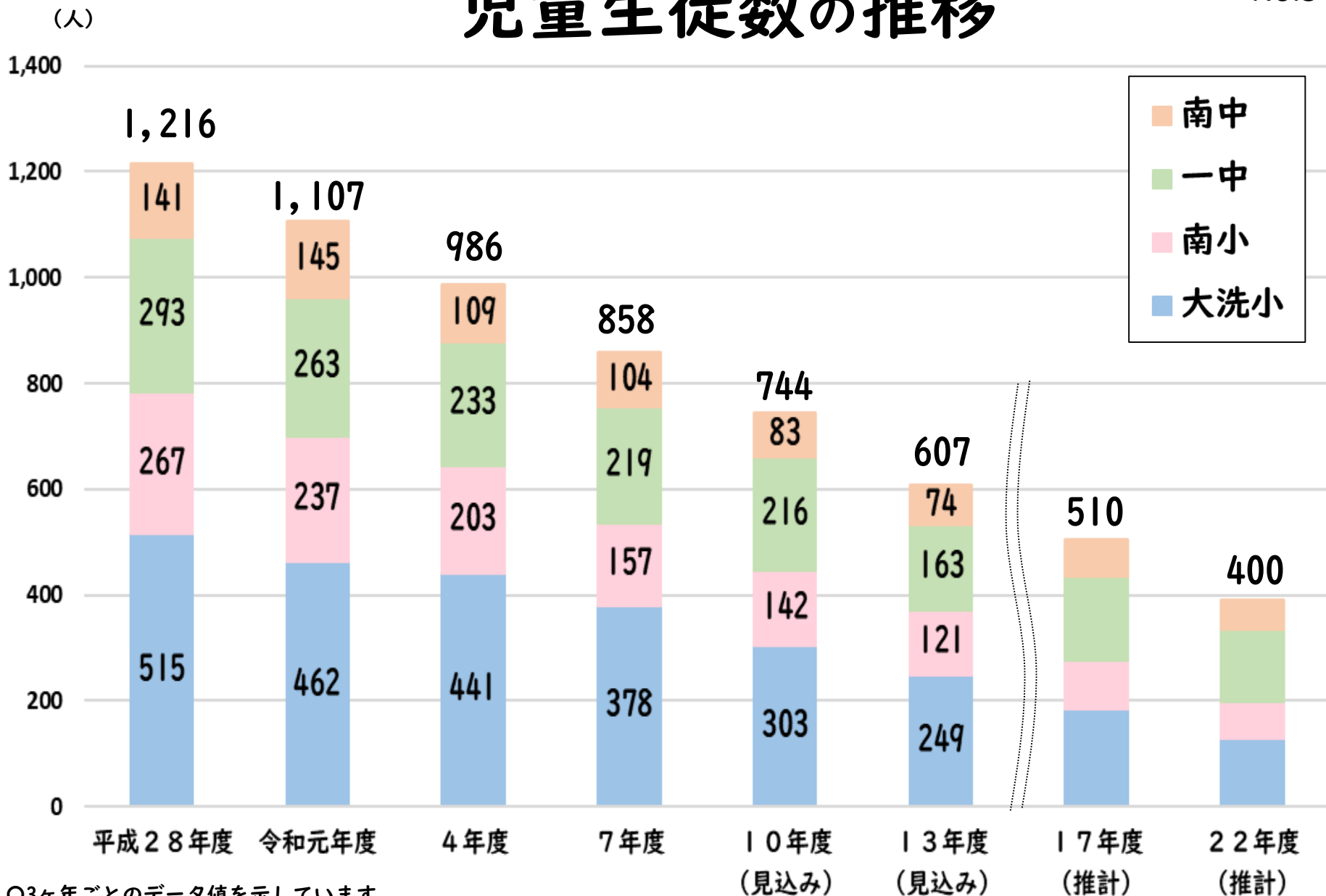


(参考)

1学級当たりの児童生徒数の基準は、小学校で35人学級です。

中学校も令和8年度から1年生が35人学級となり、令和10年度には全ての学年で35人学級になります。

児童生徒数の推移



○3ヶ年ごとのデータ値を示しています。

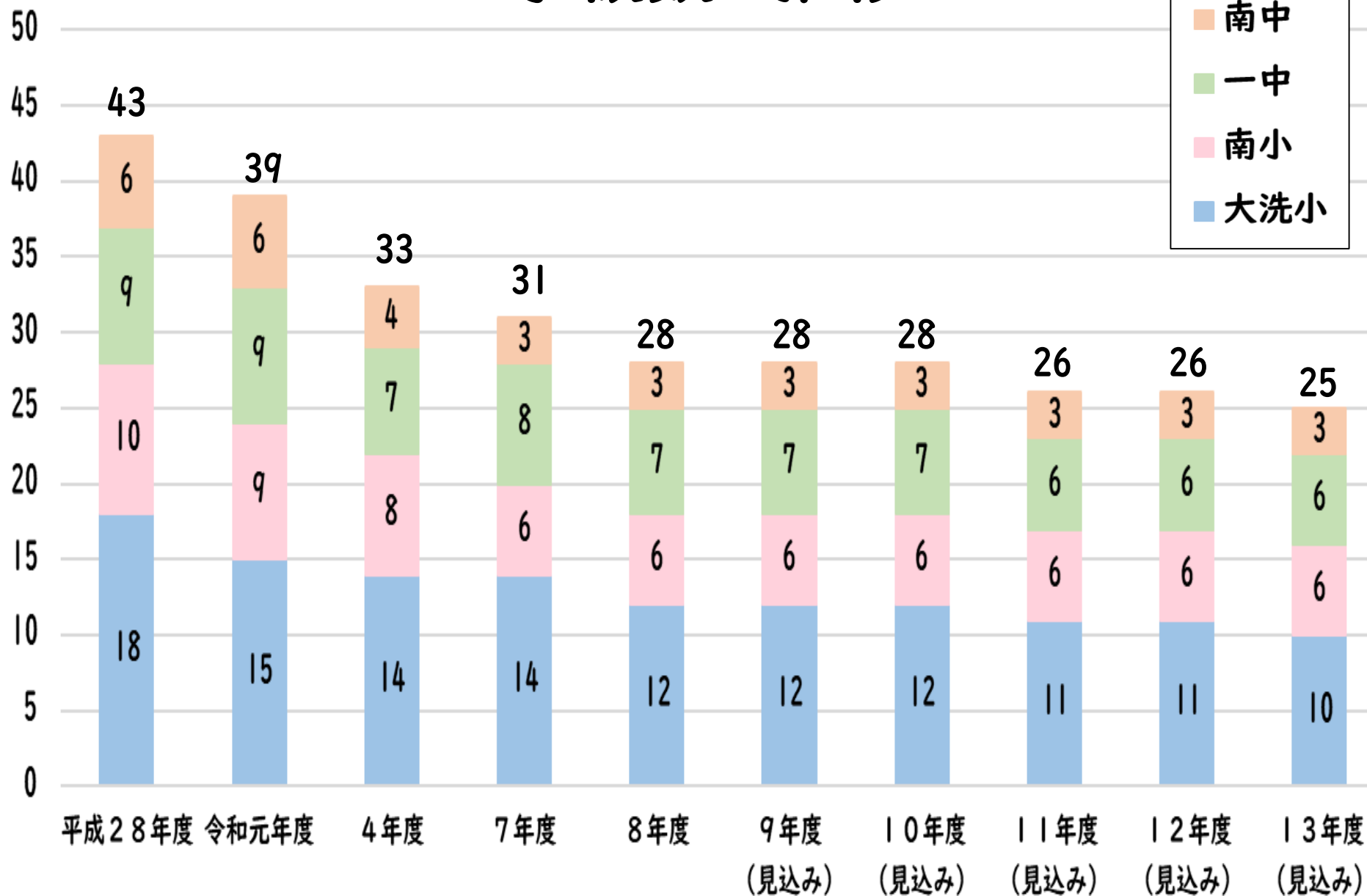
○R10、R13年度の値は、現在の児童生徒数と出生数を基礎データとした見込み値です。

○R17、R22年度の値は、これまでの児童生徒数と出生数を基礎データとし統計処理（指数回帰）した推計値です。

※指数回帰とは、指数関数で予測する統計的手法です

学級数の推移

(学級数)



※特別支援学級を含まない通常学級の数です。

新1年生 入学見込み数

	令和 7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
大洗小	51	46	54	37	36	42	32
南小	25	17	25	17	15	18	14
第一中	75	73	56	62	45	55	49
南中	31	23	18	27	23	18	23

※新小学生の見込み数は、当該年度に生まれた子の居住地を基本にこれまでの推移を加味して試算した値です。

国・県が示す 学級編制基準及び適正規模 等

	1学級あたりの 児童生徒数	1学校あたりの 望ましい学級数
小学校	35人	全学年でのクラス替えや学級を超えた集団を編成できる 1 学年 2 学級以上 （合計で 1 2 学級以上 ）
中学校	35人	全学年でのクラス替えや学級を超えた集団編成を可能としたり、教科担任制を確保できる 1 学年 3 学級以上 （合計で 9 学級以上 ）

※中学校は、令和8年度から1年生が35人学級となり、その後1年ごとに学年進行で35人学級になります。

※学校の適正規模は、文部科学省において、「望ましい学級数」として示されています。

学校のあり方に関するアンケート調査 実施状況

・調査対象者

- ア 町立小中学校に在籍している児童生徒の保護者
- イ 町内保育施設に在籍している児童の保護者
- ウ 町立小中学校の教職員
- エ 町内保育施設の代表者及び従事している保育者
- オ 町立小学校 6 年生及び町立中学校 3 年生

・実施方法

- ア 学校情報連絡ツール「マチコミ」
- イ 調査依頼文に調査表QRコード表示
- ウ 学校情報連絡ツール「マチコミ」
- エ 調査依頼文に調査表QRコード表示
- オ GIGA端末活用

Webアンケートにより実施

・調査期間

- | | | | | |
|---------|---|-----------|----------|------|
| ア・イ・ウ・エ | ➡ | 2月25日(水)～ | 3月 8日(日) | 12日間 |
| オ | ➡ | 3月 2日(月)～ | 3月 6日(金) | 5日間 |

学校のあり方に関するアンケート結果 (要旨)

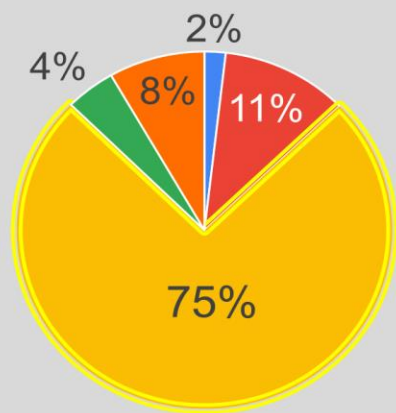
各調査の集計グラフについて

上段・・・①～③のデータを集計した「全データ集計」結果

下段・・・①保護者、②小中学校教職員、③保育施設従事者 のそれぞれの結果

Q:あなたが考える小学校の1学年あたりの学級数は何学級程度が望ましいと思いますか。

①～③の「全データ集計」



■ 複式学級（複数学年が1学級に含まれる）でもよい1学級

■ 1学級

■ 2学級～3学級

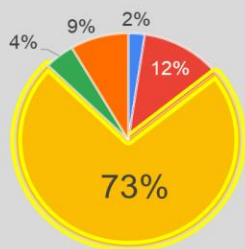
■ 4学級以上

■ わからない

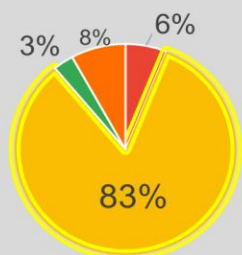
①～③の「全データ集計」

・ 2学級以上の複数学級が望ましい・・・**79%**

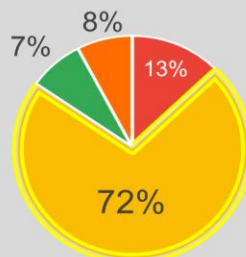
①「保護者」



②「小中学校教職員」



③「保育施設従事者」



学校のあり方に関するアンケート結果 (要旨)

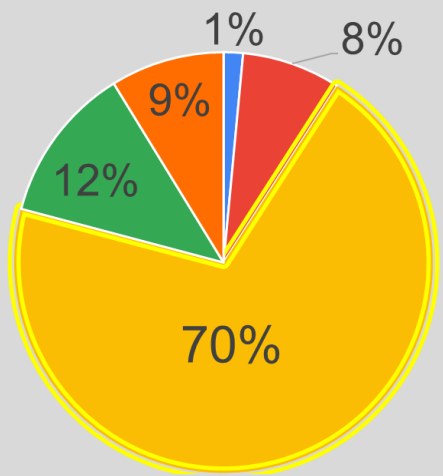
各調査の集計グラフについて

上段・・・①～③のデータを集計した「全データ集計」結果

下段・・・①保護者、②小中学校教職員、③保育施設従事者 のそれぞれの結果

Q:あなたが考える「中学校」の1学年あたりの「学級数」は何学級程度が望ましいと思いますか。

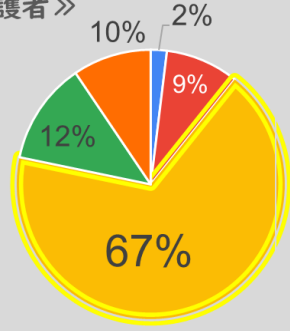
①～③の「全データ集計」



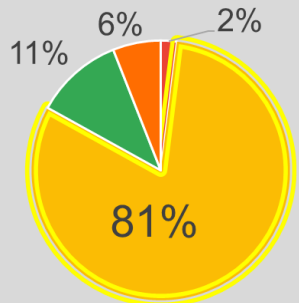
- 複式学級（複数学年が1学級に含まれる）でもよい1学級
- 1学級
- 2学級～3学級
- 4学級～6学級
- わからない

①～③の「全データ集計」
・ 2学級以上の複数学級が望ましい・・・82%

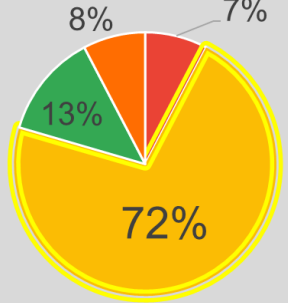
①「保護者」



②「小中学校教職員」



③「保育施設従事者」



学校のあり方に関するアンケート結果 (要旨)

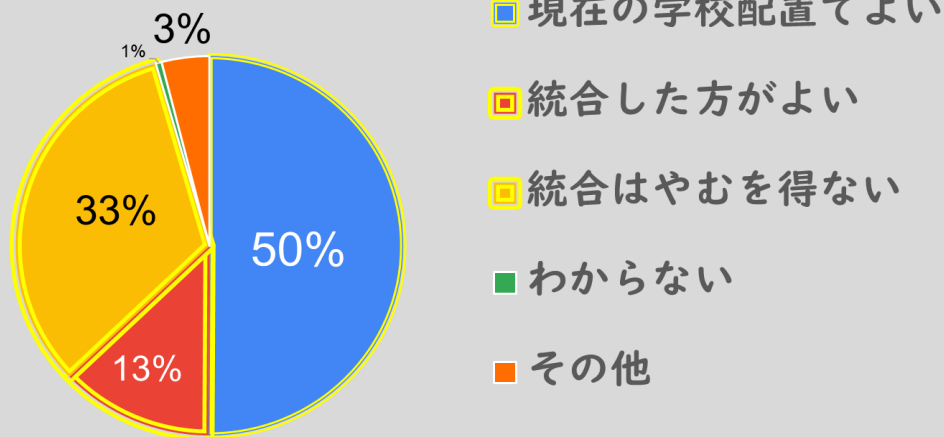
各調査の集計グラフについて

上段・・・①～③のデータを集計した「全データ集計」結果

下段・・・①保護者、②小中学校教職員、③保育施設従事者 のそれぞれの結果

Q:今後、子どもたちが学ぶ**理想的な教育環境**について、どの方法が適当だと思いますか。

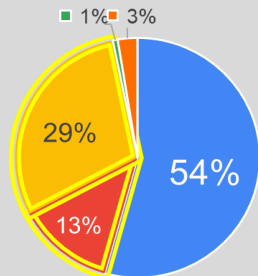
①～③の「全データ集計」



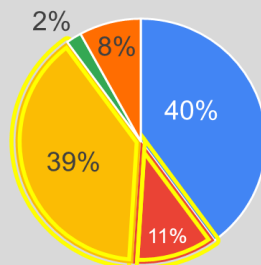
①～③の「全データ集計」

- ・現在の学校配置でよい・・・・・・・・・・ 50%
- ・統合した方がよい、統合はやむを得ない・・・ 46%

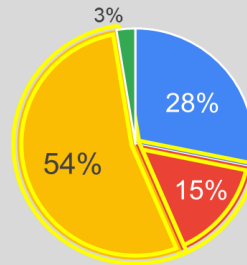
①「保護者」



②「小中学校教職員」



③「保育施設従事者」



①「保護者」

- ・現在の学校配置でよい・・・・・・・・・・ 54%
- ・統合した方がよい、統合はやむを得ない・・・ 42%

②「小中学校教職員」

- ・現在の学校配置でよい・・・・・・・・・・ 40%
- ・統合した方がよい、統合はやむを得ない・・・ 50%

③「保育施設従事者」

- ・現在の学校配置でよい・・・・・・・・・・ 28%
- ・統合した方がよい、統合はやむを得ない・・・ 69%

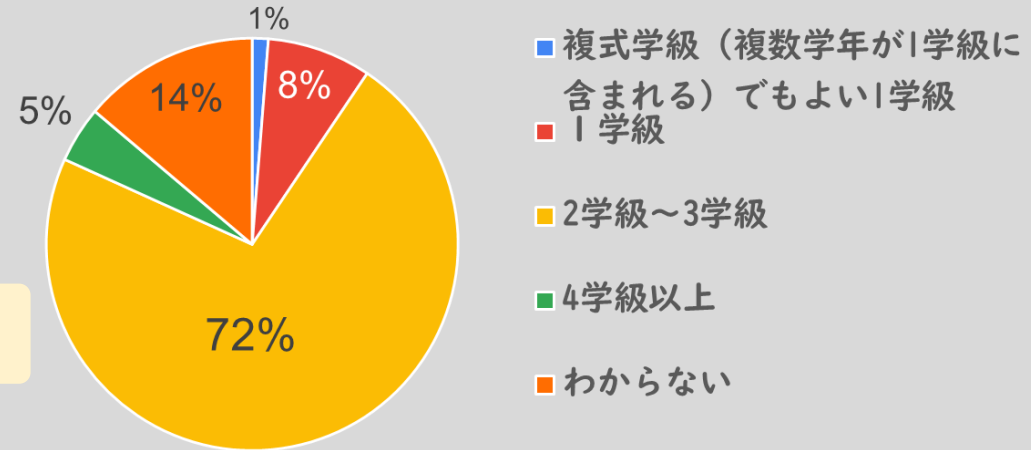
学校のあり方に関するアンケート結果(要旨)

《児童生徒》に実施したアンケート結果

[問]

1学年あたりの学級数は何学級くらいが良いと思いますか。

・2学級以上の複数学級が望ましい・・・77%

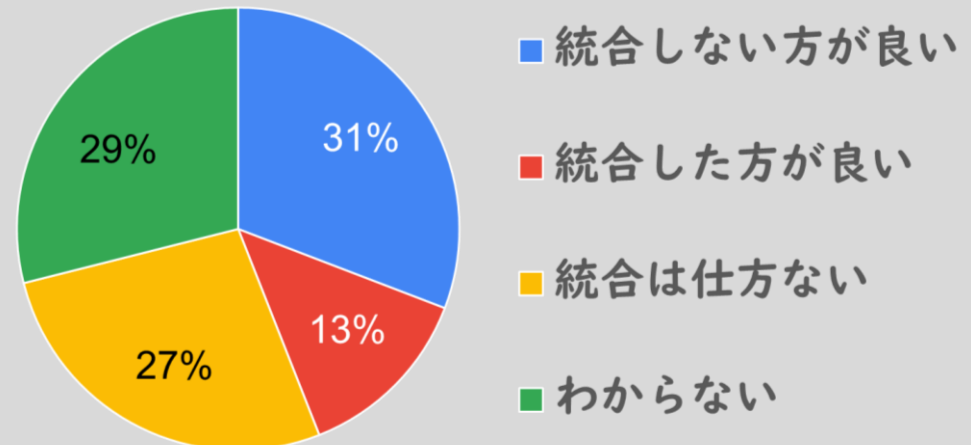


[問]

将来、学校を統合することになったら、どう思いますか。

・統合しない方がよい・・・31%

・統合した方がよい、統合は仕方ない・・・40%



大洗町立学校のあり方(基本的方向性)(案)

1 大洗町立学校における「望ましい学級数」(学校の適正規模)について

アンケート調査結果に見る「望ましい学級数」、つまり1学年あたりの学級数について、「2学級以上が望ましい」との意見が小学校では79%、中学校では82%となっています。

国・県が示す基準においても複数学級が「望ましい」とされていることも考慮し、大洗町における町立学校の「望ましい学級数」(学校の適正規模)は、「2学級以上」とするものです。

2 大洗町立学校における「望ましい学校配置」(学校の適正配置)について

アンケート調査結果に見る「子どもたちが学ぶ理想的な教育環境」については、「現在の学校配置」を望む声(50%)と、「統合した方がよい」又は「統合はやむを得ない」と考える声(46%)がほぼ同数でしたが、このうち「統合はやむを得ない」との回答理由について個々に検証すると、単学級化に伴う人間関係の固定化、部活動・学校行事の制約、多様な人間関係や社会性の育成のしにくさなどを踏まえ、統合の必要性を訴える意見も多く見られます。つまり、単なる消極的容認ではなく、将来の児童生徒数を見据え、持続可能で望ましい教育環境を確保するために統合が必要な選択肢として捉えられているとみてとれます。

また、教育現場をつかさどる教職員においては、「統合した方がよい」と「統合はやむを得ない」とを合わせた数値は、「現在の学校配置」を望む声より10ポイント高くなっています。さらに、保育施設従事者においては、「統合した方がよい」と「統合はやむを得ない」を合わせた数値は、「現在の学校配置」より41ポイント高くなっています。

以上、アンケート調査結果を検証しつつ、議論を進めた結果、次に示す「留意点」に充分留意していくことで、大洗町における「望ましい学校配置」(学校の適正配置)は、現行の小学校2校、中学校2校から、将来的に「小学校1校、中学校1校へ統合することが適当」とするものです。

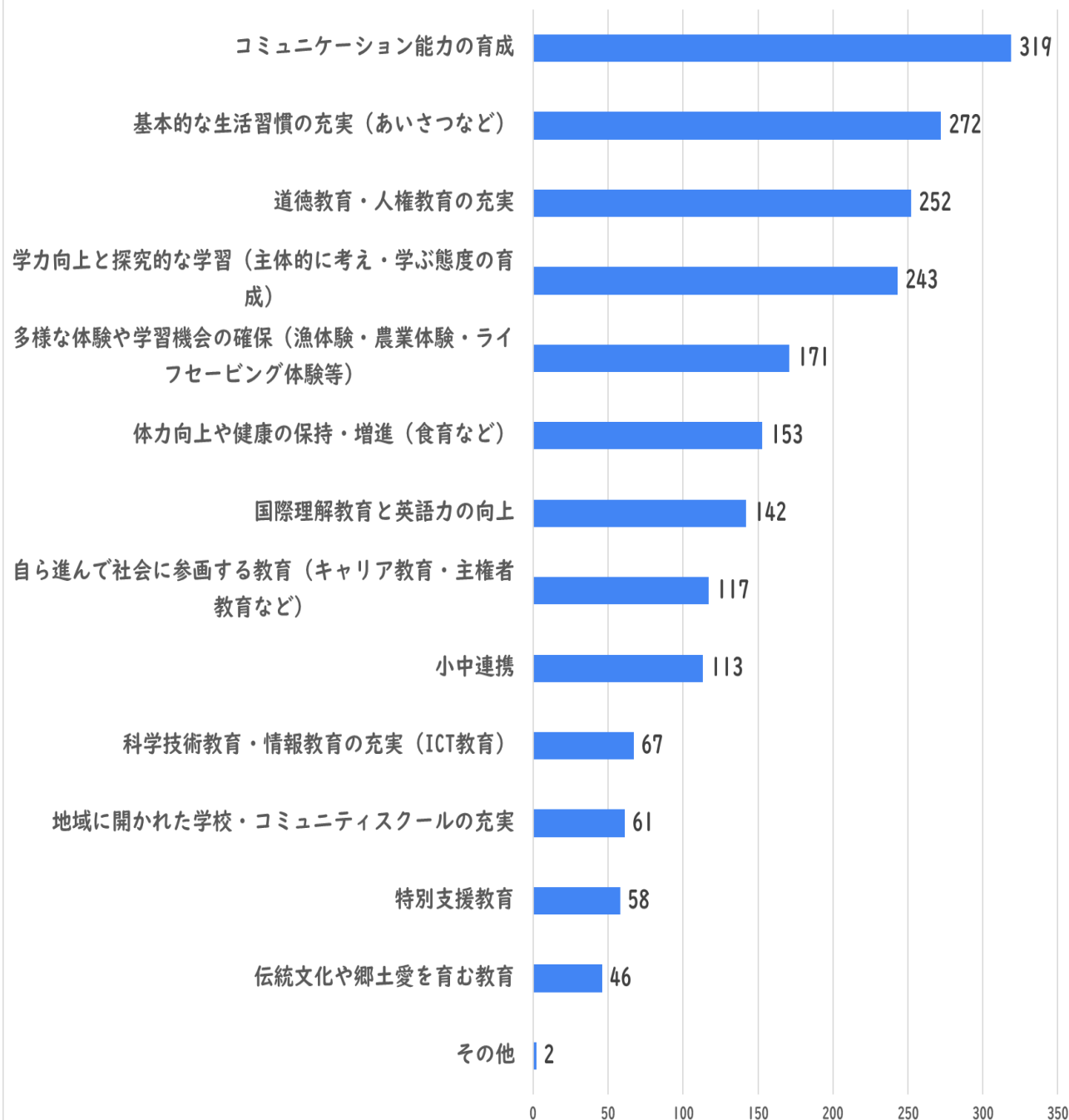
保護者

に実施したアンケート結果

[問]

児童生徒数が減少し、学校の小規模化が進んでいます。

こうした中、今後、子どもたちの学びのために
どんな教育の中身が重要だと思いますか。



《その他の意見》

- ・小中一貫教育
- ・統合

児童生徒

に実施したアンケート結果

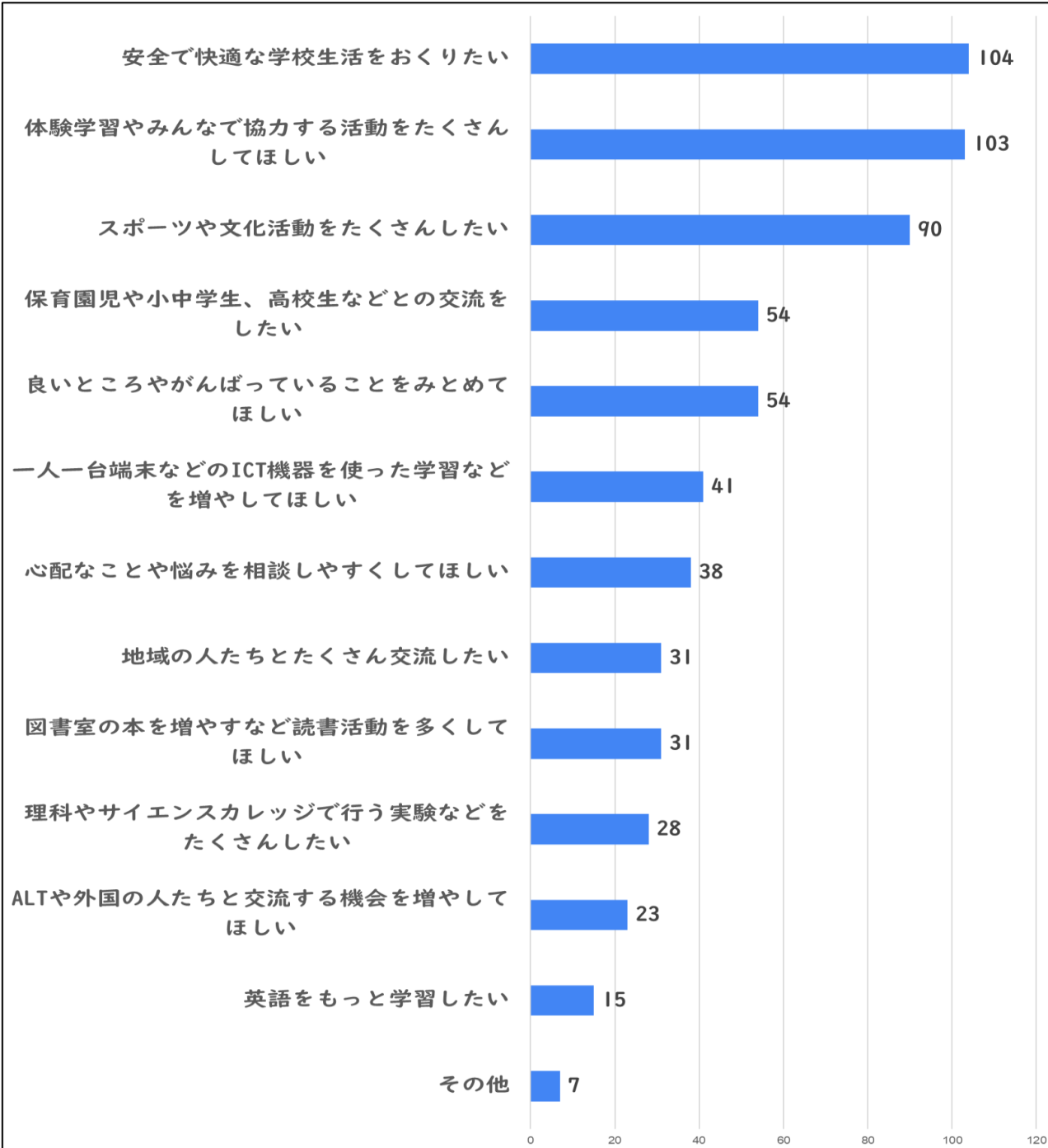
[問]

児童生徒数が少なくなっています。
これからの「学校」に

「こうなってほしい」

「こうしたい」

など、**期待**することや**望む**ことは何ですか。（5つまで）



《その他の意見》

- ・社会常識を学ぶ場を増やしてほしい
- ・もっと楽しみたい
- ・特になし
- ・スマホok
- ・ない
- ・体育館を新しく
- ・学活の授業を増やしてほしい